

曲目解説

文・峰村 茜（ニッケルハルパ奏者）

スウェーデンの伝統曲の多くは「ポルスカ」と呼ばれる3拍子の舞曲である。本公演では、ニッケルハルパの伝承地「ウップランド地方」に伝わるポルスカを中心に、他の地域の伝統曲も織り交ぜながら、ソロ/デュオ/トリオの各形式により伝統音楽を奏でる。

ラーシュ・サールストルム伝承のセーンポルスカ

ウップランド地方のサールストルム家に伝わる、ゆったりとしたポルスカ。ニッケルハルパの開放弦の音色が活きる、Cメジャーの曲。

フレーンに伝わる悪魔のポルスカ

「悪魔のポルスカ」とは、フィドルの弦のチューニングを変えて演奏されていた曲のこと。つい踊り出したくなるような楽しいメロディだが、一度踊り始めると死ぬまで踊るのをやめられない、とも。セーデルマンランド地方に伝わる曲。

ゴース・アンダーシュ伝承のシスタ・ポルスカン（最後のポルスカ）

19世紀のフィドル奏者ゴース・アンダーシュが伝えたポルスカ。ダンスの最後に「締め」の曲として演奏されたが、かえって盛り上がりすぎてしまい、結局その後も演奏が続いたという。

ネッケンとスコー・エツラ

演奏が得意な水の精ネッケンと、中世の民話に登場する「悪魔よりも怖ろしい女性」スコー・エツラ。二人が演奏対決をしたともいわれるポルスカ。オクターブでの対のモチーフがそれぞれの演奏を表している。

ヴィルヘルム・フェロッテ伝承の結婚式のポルスカ

結婚式で演奏されたポルスカ。昔のスウェーデンの結婚式では、結婚行進曲から、皆で踊るダンスの伴奏、食事の席での音楽など、村の演奏家による演奏が欠かせなかった。

ヘリエダーレン地方に伝わるショッティス

スウェーデン西部ヘリエダーレン地方に伝わる、ミステリアスな雰囲気のあるショッティス。スイング感のある2拍子の舞曲。

トランストランドのオーマス・ペール伝承のスプリングレーク（ダーラナ地方）

この曲が伝わるダーラナ地方は、フィドルによる伝統音楽が特に盛んな地域。村々によって特徴の異なる伝統曲が伝えられ、そのリズムや演奏法に、豊かな地域性を聴くことができる。

ターンショーに伝わるポルスカ

クラリネット奏者ヨン・エリック・シェディン伝承の爽やかな曲。彼は父のレパートリーを受け継ぎ、妻とともに多くの曲を演奏した。

ヘッレフォーシュネースに伝わるポルスカ

セーデルマンランド地方に伝わる静謐なポルスカ。メロディの美しさから、近年世界的にも人気が出ている曲の一つ。

「エーカ・タクテン・ポイカル（テンポを上げて）」シュペール・スティーナ伝承のポルスカ

「シュペール・スティーナ」の愛称で知られるアンナ・カイサ・ノールマンは、イエストリークランド地方のフィドル奏者。不思議な音階のフレーズが印象的な、挑戦的なポルスカ。

野イチゴ畑のイーダ伝承のポルスカ

イーダ・グスタヴソン伝承。古いタイプのニッケルハルパで演奏されてきた曲。ウップランド地方らしい音階と堂々たるスイング感を誇る。